



週報

第2660地区

The Rotary Club of OSAKA-WEST

大阪西ロータリークラブ

創立 昭和32年6月4日

事務局 大阪市北区梅田1丁目1番3号
 大阪駅前第3ビル 30階 (〒530-0001)
 電話 06-6348-8436 ファックス 06-6347-4556
 ホームページ <http://www.osaka-westrc.org>
 メール osaka-w@cronos.ocn.ne.jp
 例会日 毎週月曜日 12時30分
 例会場 ヒルトン大阪
 会場電話 06-6347-7111

会長 市川 雅邦
 幹事 山中 政彦
 会報委員長 種村 泰一

4つのテスト われわれがものごとを考え、言い、また為そうとする場合はこれに照合してから。
 I 真実かどうか。II みんなに公平か。III 好意と友情を深めるか。IV みんなのためになるかどうか。

ロータリー：変化をもたらす

— ROTARY: MAKING A DIFFERENCE —

イアン H.S. ライズリー

No 2388 2018年4月9日 第2850回例会

本日のお知らせ

- ◆ R. S. 「 奉仕の理想 」
- ◆ 卓話 「 阪神タイガースの今シーズンと私の現役時代 」
プロ野球解説者 湯舟 敏郎 氏
(担当会員 中土 浩 君)
- ◆ 定例理事会開催
本日、例会終了後、ヒルトン大阪 10 階において開催致しますので、理事・役員の方はご出席ください。
- ◆ 4 月度皆出席表彰

18 年	山内 康俊 君
2 年	黒田 晶志 君
1 年	根本 竜司 君
- ◆ ホームクラブ出席率良好表彰

山内 康俊 君
根本 竜司 君
- ◆ 4 月度お誕生祝い

昭和 13 年 4 月 20 日	上野 義治 君
昭和 28 年 4 月 11 日	村上 正 君
昭和 30 年 4 月 27 日	田中 義久 君

昭和 34 年 4 月 24 日	桑森 章 君
昭和 35 年 4 月 15 日	谷田 誠 君
昭和 40 年 4 月 8 日	只井 恒満 君
昭和 42 年 4 月 3 日	川島 柱賢 君
昭和 43 年 4 月 20 日	中土 浩 君
昭和 45 年 4 月 10 日	加藤 仁 君

- ◆ クリーンハイク開催
 日時 2018 年 4 月 14 日 (土) 11:00~12:00
 集合 10:45 大阪マルビル 1F スターバックス前
 内容 西梅田界隈の清掃奉仕
 ・終了後、参加者で「たちばな」にて昼食会 (自由参加) を予定しています。

次例会のお知らせ

- ◆ R. S. 「 日も風も星も 」
- ◆ 卓話 「 新入会員の話 」
 谷田 誠 君
 徳留 隆夫 君

前例会の報告

- ◆ 前例会 (3 月 26 日) の来客者 3 名
 うち国内来客者 1 名
 国内ゲスト 2 名

◆ 前例会 (3月26日)の出席状況

出席会員数 (内 15 名免除会員)	62 名
欠席会員	28 名
出席規定適用免除会員	25 名
会員総数	100 名
出席率	68.89%

◆ 3月5日の例会の出席率 (MUを含む) 84.09%

◆ ニコニコ箱 (3月26日分)

- ちょっといいことがありました。山内会員お世話になりました。 尾久土 治 君
- 本日の卓話よろしくお願いします。 鴻池 忠彦 君

ニコニコ箱 (3月27日分)



ニコニコ箱への寄付は、クラブの奉仕活動資金となります。ご協力よろしくお願い致します。

クラブ・ニュース

◆ 定足数例会報告

日時 2018年3月26日 13:30～13:35
 場所 ヒルトン大阪 例会場
 議題 1. 本年度(2017～2018年度)役員選任の件
 中野昌幸会員退会に伴う本年度役員変更
 役員 (S. A. A.) 森川 晃夫
 全員一致で承認された。

◆ 母子の健康月間によせて

世界では疾病、栄養失調、医療の不備、不適切な衛生設備が原因で毎年、5歳未満の子どもが590万人亡くなっています。また避妊を望む女性のうち2億2,200万人が安全で効果的な避妊法を利用できません。サハラ以南のアフリカでは、39人に1人の女性が妊娠中または出産による合併症で亡くなっています。2014年10月RI理事会は、4月を重点分野である「母子の健康月間」と定め、このような子どもたちや母親の命を救うため母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援をしています。

具体的な活動としては、

- ① 予防ワクチンや抗生物質を提供するプログラムを支援する。
 ワクチンで予防可能な病気は、ポリオ・はし

か・マラリア・肺炎・エイズ・百日咳等 20種類ほどにも増えており、5歳未満の子どもの主な死亡要因となっています。予防接種を世界中の人々が受けられる社会・姿・笑顔を想像してみてください。

- ② 母乳の奨励 (適切な場合) など栄養摂取の大切さを呼びかける。
- ③ 汚染水による下痢性疾患によって栄養失調が悪化するため、水と衛生を改善して子どもの栄養促進を図る。
- ④ 避妊教育や避妊具の提供といったニーズを満たすだけで妊婦の死亡率を3分の1近く減らすことができる。
- ⑤ 医療従事者に出産に関する情報資料を提供する。

[参考] 避妊に関する地域社会の文化や伝統に十分配慮し、地域住民との信頼関係を築くことができれば、より効果的にニーズを満たせる。

- ⑥ 医療従事者を対象とした公認の研修プログラムを支援する。

[参考] ・医療研修プログラムを地元の人びとが引き継いでいけるよう、支援とリソースを提供する。

・妊婦や新生児の医療に関する専門知識があるロータリー会員 (助産師・婦人科医・産科医など) に相談する。

・母子の健康に関する専門団体と協力する。などが挙げられます。当地区でも地区補助金・グローバル補助金を活用してこの問題に取り組んでいるクラブもあります。ロータリークラブの活動で重要な観点は「適確なニーズの把握」と「成果の持続可能性」です。この点を充分にご理解され、素晴らしい・より効果的にニーズを満たせる奉仕活動の立案をお願い申し上げます。

RI 第 2660 地区ガバナー 片山 勉
 (ガバナー月信より)

♪本日のロータリーソング♪

「奉仕の理想」

奉仕の理想に集いし友よ
 御国に捧げん我等の業
 望むは世界の久遠の平和
 めぐる歯車いや輝きて
 永久に栄えよ 我等のロータリー
 ロータリー